

日本書誌学大系『絵入狂言本総覧』刊行関連企画

公開研究会「絵入狂言本と元禄歌舞伎研究の復権」

本年2月に日本書誌学大系の1冊として、『絵入狂言本総覧』（青裳堂書店）が刊行されました。絵入狂言本は、元禄時代の歌舞伎を研究する上では必須の資料ですが、現在、江戸時代を対象とした歌舞伎研究は停滞気味と言わざるを得ません。本書の発刊を機会に、共同編著者が編集活動を通じて得た成果を発表し、近世演劇研究に興味のある皆様とディスカッションをする場を企画しました。

当日は、貴重な絵入狂言本関連資料の展示も実施する予定です。この研究会を歌舞伎研究の起爆剤にしたいと思っておりますので、是非ともご参集ください。

日時：2025年6月28日（土）14時から

場所：立命館大学アート・リサーチセンター多目的室

14:00

開会の挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・佐藤恵里

14:05

『絵入狂言本総覧』講評・・・・・・・・・・・・・・・・・・広瀬千紗子

14:35

話題1：絵入狂言本とその周辺・・・・・・・・・・・・・・・・赤間 亮

話題2：絵入狂言本の題と表紙の色・・・・・・・・・・・・和田 修

話題3：京都の絵入狂言本の時期区分・・・・・・・・・・岩井眞實

話題4：上方絵入狂言本の後印本・・・・・・・・・・・・東 晴美

15:50

ディスカッション

・テーマ 狂言本の出版に関する問題 ―上本や横本など―

17:00 閉会の挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・赤間 亮

資料展示

「西澤一鳳貼込帖」（早大演劇博物館蔵）

「けいせい御菩薩池」（阪口弘之氏蔵）

他

企画：絵入狂言本研究会

主催：国際共同利用共同研究拠点プロジェクト（学内型）

「世界の日本文化資源データの駆動空間の構築」

協力：立命館大学アート・リサーチセンター